

# Nishiaizu



## 3 | 広報にしあいづ

March. 2017 (平成29年) No.701

寒いけど楽しい!  
—雪国まつり・雪上運動会(踏み俵競争)から—

### 特集

ふくしま駅伝  
躍進の舞台裏 P2~P5

- P 6 親雪・遊雪 雪国・西会津を遊び尽くす  
第27回西会津雪国まつり開催
- P 10 まちの話題  
文化財防火デー消防訓練 ほか
- P 12 まちからのお知らせ&ニュース  
固定資産評価審査委員会委員の紹介 ほか

*Congratulations!*  
敢闘賞おめでとう！



ふくしま駅伝

# 躍進の舞台裏

広報にしたいづ12月号の公民館だよりでお伝えしたとおり、第28回ふくしま駅伝で町チームは昨年からの順位を11上げ、チーム史上最高となる37位に躍進し、目標としていた町の部・敢闘賞を受賞しました。

今月号では、第28回大会で町チームが大きく躍進できた理由、躍進の舞台裏に迫ります。

## 町チームが躍進できた理由<sup>わけ</sup>

町ふくしま駅伝実行委員会では、平成23年度に「ふくしま駅伝成績向上計画」を策定して以来、同大会での成績向上に向けさまざまな取り組みを行っていきます。また、大会の後には、なぜ順位が上がったか、下がったか、選手一人一人の練習環境はどうだったかなどを幅広い視点から分析し、次の大会に向けた練習の期間や内容に反映させていきます。

この取り組みを始めたきっかけは、第23回大会での最下位でした。それ

以前から町チームの成績は低迷傾向にありましたが、「最下位」となったのはこのときが初めて。選手はもちろん、関係者も落胆の色を隠せませんでした。

しかし、このときの「最下位」があったからこそ、成績向上に向けた取り組みが始まり、第28回大会での躍進につながりました。取り組みを始めてから5年越しの大躍進。すぐに結果が出なくても、継続すること  
で必ず努力は実を結びます。



## 成績低迷の要因を分析

第23回大会で最下位となった後、町ふくしま駅伝実行委員会では、最下位となった要因と成績が上位だったチームの特徴を分析し、町チームの成績向上に向けた取り組みを始めました。

分析の結果、成績が上位だったチームでは、陸上競技部に所属している高校生や陸上競技部で活躍したOB、OGなどが多く選手に起用され、また練習の開始時期が早いことが分かりました。一方、当時の町チームには陸上競技部に所属している選手や陸上競技経験者が少なく、野球部やサッカー部といった陸上競技とは別の部活動に所属している、または所属していた選手が大半を占めていました。さらに、多くの市町村が8月下旬から、早いところでは6月からチーム練習を開始している中、第23回大会前に町チームが練習を始めたのは10月中旬。練習の面でも後れを取っていました。

の向上」、この3つを基本的な方針として第23回大会が終わって間もない12月11日から第24回大会での最下位脱却を目指し練習を開始しました。

## 最下位からの脱却

平成24年度に開催された第24回大会では、前年12月から練習を開始したことで、会津地域の陸上競技普及・発展に力を注ぐ会津陸上競技協会の越尾咲男会長に特別支援コーチを依頼したことにより、練習と指導力の強化を図ることができ、参加50チーム中48位と見事最下位を脱することができました。

また、越尾会長には、選手に対する指導に加え、コーチなどの指導者に対する指導方法や指導論などの指

南も行ってもらい、チーム全体の成長につなげました。

こうして、第25回大会では参加51チーム中45位、第26回大会では参加52チーム中第46位、第27回大会では参加52チーム中第48位と、少しずつではありますがついてきました。



子どもたちを指導する越尾会長



アンカーの伊藤拓也選手とゴール地点で到着を待つ鈴木監督(第26回大会)

## 町チームの成績の推移 (町チーム順位/参加チーム数)



最下位から始まった  
ふくしま駅伝成績向上への取り組み  
敢闘賞受賞の舞台裏には、  
選手はもちろん、関係者が未来を信じ、  
積み重ねた努力があります

## 選手の育成

町公民館では、第23回大会後に策定した「ふくしま駅伝成績向上計画」に先立ち、平成22年10月に小学生を

対象とした「キッズランニングクラブ」を設立しました。これには、子どもたちが走ることに触れ合い、走る楽しさを知り、友達と競い合いながら成績向上の喜びを感じることで、長距離走に対する好印象や親しみをもち、高校の陸上競技部などで本格的に陸上競技に取り組む選手の育成につながる狙いがありました。

こうした長期的な視点に立った選手の育成は、短期的にみるとなかなか成果が見えません。しかし、町公



民館や町陸上競技協会、町体育協会などの関係者は未来を信じ、力を合わせて取り組んできました。そして、取り組みを始めてから5年が経過した昨年の第28回大会では、出場した16人の選手のうちキッズランニングクラブ出身の選手は6人となり、また、第23回大会のときにはいなかった高校の陸上競技部に所属している選手は4人となりました。

敢闘賞受賞という形でその成果が見え始めた今、続けてきた努力は確実に実を結びつつあります。

## おめでとう、そしてありがとう 走ることを楽しみながら 記録更新を目指し頑張してほしい

第28回大会の当日は、テレビ放送を見ながら関係者と連絡を取ったり、インターネットの速報をチェックしたりと、朝から興奮していました。過去最高の37位、そして目標だった敢闘賞の受賞は本当に素晴らしいことで、心からおめでとう、そしてありがとうと伝えたい気持ちです。キッズランニングクラブが始まったのは平成22年10月。私は平成23年5月から約5年間、コーチ兼事務局として携わり、長距離走に親しみをもってもらえるよう、夏場は月2回、冬場は月1回、楽しく活動することを第一に考えてクラブを開催してきました。参加者の数は年々増え、走ることが好きな子どもも増えました。クラブで教



ていた子どもたちがふくしま駅伝という晴れ舞台で走っている姿を見ると、感慨深いものがあります。第29回大会では、走ることを楽しみながら、今回の記録をさらに更新できるよう頑張してほしいと思います。

## INTERVIEW インタビュー



元キッズランニングクラブ  
コーチ兼事務局

齋藤 正利 さん (山口)

●さいとう まさとし 平成23年4月から平成28年3月までの5年間にわたりふくしま駅伝やキッズランニングクラブの裏方として奮闘。第17回大会～第19回大会では選手として出場。



## 挑戦はこれから。さらに上を目指して

平成23年度の「ふくしま駅伝成績向上計画」では、短期、中期、長期でそれぞれ目標を設定していました。短期目標は翌年の第24回大会で最下位を脱出すること、中期目標は5年後の第28回大会で30位台に入ること、長期目標は8年後の第31回大会で20位台に入ることです。計画策定当時、町チームの過去最高順位は第19回大会で記録した第44位でしたので、高い目標を掲げていたことがうかがえます。

しかし、町チームはこの高いハードルを見事乗り越え、第28回大会で37位となり、中期目標を達成しました。さあ、次の目標は第31回大会で20位台に入ることです。長期目標はさらに高いハードルを越えなければなりません。今回の躍進を見た今、「町チームならきつとやってくれる」という期待を抱かずにはいられません。

選手や関係者、関係団体が力を合わせ、町ぐるみでふくしま駅伝での成績向上に取り組み、挑戦する町チームをみんなで応援しましょう。

過去最高の37位でゴールテープを切る薄上南平選手（第28回大会）



## インタビュー INTERVIEW



第28回ふくしま駅伝10区

佐藤 茂哉 さん（芝草）

●さとう しげや 第23回大会から6年連続出場。平成28年には、鶴ヶ城ハーフマラソン大会、あいづばんげ「いにしえ街道」マラソン大会、蔵のまち喜多方健康マラソン大会でそれぞれ優勝した実績を持つ（全て高校生男子・5km）。

## きっかけは陸上大会での優勝 町民の皆さんに元気をあげられるような 力強い走りを見せたい

私は、小学6年生のときに出場した陸上大会の1000m走優勝がきっかけで走ることが好きになりました。そのときに「ふくしま駅伝に出てみないか」と声を掛けてもらい、やってみようと思ったことを覚えています。中学1年生からこれまで、毎年出場しています。第28回大会のときは、実は足を捻挫していて出場を迷っていましたが、しかし、第28回大会は高校最後のふくしま駅伝ということもあり、出場したいという強い気持ちがありました。高校の部活動の顧問の先生や医師と相談しながらコンディションを整え、出場を果たすことができ、さらに町チーム過去最高の順位とタイムで敢闘賞を受賞できたことは率直にとてもうれしかったです。

今後は大学に進学し、駅伝部に入部します。そこでしっかりと力を付け、第29回大会では町民の皆さんに元気をあげられるような走りを見せたいと思いますので、応援よろしくお願いします。





### 名物のジャンボ雪だるま

西会津雪国まつり名物のジャンボ雪だるまは、前日からの降雪でかわいらしいおかつぱ頭に。周辺では、子どもたちが元気いっぱい走り回り、夢中で雪遊びをしていました。

# 雪国・西会津を遊び尽くす！ 第27回西会津雪国まつり開催





## イベント多彩に 雪国・西会津を満喫

恒例の西会津雪国まつりが2月11日、12日にさゆり公園で開かれ、今年も町内外から訪れた大勢の来場者でにぎわいました。

午後3時開場の11日には、福島や西会津ゆかりの音楽アーティストによる吹雪とロックの雪上野外ライブ「ホワイトステージ」、キャンドルホルダー作りなどを体験する「日本の雪を体験！冬を遊ぼう」、温かい豚汁と甘酒の振る舞い「あったげえの食べらんしょ」が行われたほか、辺りが薄暗くなると会津の伝統行事「歳の神」や「キャンドルナイト」、「雪上花火」が会場を幻想的

な光で彩りました。

メインとなる12日には、午前9時30分開会のオープニングセレモニーを皮切りに、ご当地ヒーロー「丞神デナーショー」、町の伝統工芸品などを使用して競技する「雪上運動会」、除雪した雪を積み上げて高さを競う「ジョセササイズ・イベント」、恒例の「桐ゲタ飛ばし全国大会」、ミカンを拾って書いてある番号で抽選を行う「大抽選会」が行われ、訪れた皆さんは西会津ならではのさまざまなイベントに参加し、雪国・西会津を心ゆくまで満喫しました。このほか、スノーモービル

の乗車体験や福島ホープス野球教室、岩村監督講演会、アルビレックス新潟サッカークラブなども開催され、雪国まつり名物のジャンボ雪だるま周辺では、子どもたちが元気に雪遊びを楽しみました。出店コーナーには町のご当地グルメ・西会津みそラーメンや喜多方ラーメン、只見名物味付けマトンケバブなど町内外のご当地グルメが軒を連ね、目当ての「うまいもん」を求め、買い物客が列をつくりました。今年、西会津雪国まつりも、見て、体験して、遊んで、食べて、子どもから大人まで誰もが楽しめるイベントとなりました。



## 親雪・遊雪

### ご当地ヒーロー<sup>しょうじん</sup>丞神デナー

赤べこの形をした生命体「ベナー」が山の神様の力を借りて人間と融合した闘神。雪国まつりではキャラクターショーを行ったほか、会場を練り歩き記念撮影などで来場者を楽しませました。



### 雪に親しみ、雪で遊ぶ 西会津雪国まつり

写真の説明= 1. 忙しい中会場に駆け付けてくれたなすびさん / 2. 降りしきる雪にもめげずイベントの司会を務めてくれたよしもと福島県住みます芸人・ペンぎんナツの2人 / 3. 雪遊びの様子。何度も何度も夢中になって滑っていました / 4. 桐ゲタ飛ばし全国大会。雪の特設ステージから器用に桐ゲタを蹴り飛ばしました / 5. ひとりぼっち秀吉BAND (ホワイトステージ)。雪国まつりのほか、タイアップイベントとしてインスタライブを町内飲食店で開催しました / 6. 音速ライン (ホワイトステージ)。しんしんと雪が降る中、多くの観客がその歌声に酔いしれました / 7. キャンドルナイト。写真は「きこりのろうそく」ともいわれるスウェーデントーチ



## 雪の上で沖縄エイサーを披露

冬季交流事業で来町した沖縄県大宜味村の児童生徒が郷土芸能「エイサー」を披露。雪国まつりの開幕に花を添えました。



## 童心に帰って熱中 雪上運動会

雪上運動会では、むかで競争やそりりレー、踏み俵競争を行い、大人も童心に帰って競技に熱中しました。

## 鏡開きでまつりの開幕祝う

威勢の良い鏡開きで雪国まつりが開幕し、鏡開きの酒は来場者に振る舞われました。



## 雪灯籠・雪像コンクール 町長賞は4町内会に

雪灯籠・雪像コンクールには今年も力作が勢ぞろいしました。

【入賞団体】町長賞＝4町内会、  
商工会長賞＝西田精機株式会社、  
会津よつば農業協同組合長賞＝  
社会福祉協議会・民生児童委員  
協議会、森林組合長賞＝上野尻  
自治区、福島民報社賞＝大久

保・中野自治  
区、福島民友  
新聞社賞＝野  
沢地区老人ク  
ラブ連絡協議  
会



## 岩村監督講演会

福島ホープス岩村明憲監督による講演会。皆さん興味深そうに聴き入っていました。

## 夜を彩る火と光

歳の神と雪上花火、キャンドルナイトの火と光が幻想的な夜を演出しました。





### 1等の景品は米1俵 大抽選会

雪国まつりのフィナーレを飾る大抽選会。1等の米1俵は結城よつ子さん（小綱木）に。



### ジョセササイズで競技イベント

日本ジョセササイズ協会の協力のもと、除雪した雪を積み上げて高さを競う「ジョセササイズ・イベント」を開催。手や足は使わず、スコップとスノーダンプで器用に雪を積み上げました。



### 福島ホープス野球教室

プロの選手に直接指導してもらい、もっと野球が好きになりました。



### 桐ゲタ飛ばし全国大会 一般男子の部優勝は渡部美継さん

恒例の桐ゲタ飛ばし全国大会では、各部門で参加者が日本記録を目指し思い切り桐ゲタを蹴り飛ばしました。【各部門優勝者】小学生男子の部＝鈴木輝さん（会津若松市）、小学生女子の部＝物江花奈さん（9町内1）、中学生男子の部＝長谷川冬希さん（縄沢）、一般女子の部＝玉木あずささん（芝草）、一般男子の部＝渡部美継さん（喜多方市）



### 大人気のスノーモービル

スノーモービルランド西会津には、今年も乗車待ちの長い列ができました。

## 貴重な文化財を火災から守る

迅速かつ的確な消防技術の習得と、先人が残した貴重な文化遺産を火災から守ることを目的に文化財防火デー消防訓練が1月29日、西光寺で行われました。訓練には、町および消防関係機関、上野尻自治区の住民など約80人が参加し、初期消火や放水、応急手当などの訓練を行い、万一の際の対応手順を確認しました。訓練終了後の講評で伊藤町長は「今回の訓練を契機に文化財の保護・愛護に取り組み、さらなる予防消防の強化をお願いします」と呼びかけました。



▲本番さながらの放水訓練

### ▼女性消防隊による応急手当訓練



▼初期消火訓練

▲放水までの一連の手順を確認



## 4月から1年生 西小体験入学

2月15日、西会津小学校の体験入学が行われ、保育所の年長児ら33人が4月から通う新たな学び舎を訪れました。当日は、西会津小学校の1年生が先輩らしいきびきびとした姿で1年間の学校行事を紹介したほか、輪投げや昔遊び、ボーリングなどのレクリエーションで保育所児童を楽しませました。年長児の皆さんは、先輩との触れ合いを通して、小学校入学への期待を膨らませていました。

## 最新鋭の消防ポンプ車を配備

西会津消防署に会津管内で初となる最新鋭の水槽付き消防ポンプ車が配備され、2月20日、同所で引き渡し式が行われました。引き渡し式では、喜多方広域市町村圏組合消防本部の佐藤喜幸消防長が岩橋隆明西会津消防署長に車両の鍵を手渡し、「地域住民や町を訪れる皆さんに対する今まで以上の安全・安心の確保をお願いします」と訓示しました。

この車両には、少ない水で大量の泡を放水することができる圧縮空気泡消火装置のほか、救助資器材、電光掲示板が積載され、高速道路などでの事故の際、迅速に救助活動を行うことができます。





## ライオンズクラブが演台一式を寄贈

2月13日、西会津ライオンズクラブの長谷川孝志会長らが町役場を訪れ、4月に開園予定の町認定こども園「こゆりこども園」に設置する演台一式を町に寄贈しました。今回の寄贈は西会津ライオンズクラブが精力的に取り組む青少年育成事業の一環で、ライオンズクラブ国際協会設立100周年記念事業として行いました。寄贈を受けた伊藤町長は「いつもさまざまなことにご協力いただき感謝しています。今後も町政に対するご指導、ご協力をお願いします」と謝意を述べました。



## 西小に県建築文化賞・特別部門賞

地域の周辺環境に調和し、景観上優れている県内の建築物などを表彰する第33回県建築文化賞で西会津小学校が特別部門賞を受賞しました。隣接する西会津中学校との調和を図りながら小中一貫教育の推進を目指している点や、豪雪地という環境の中、三重ガラスサッシの採用、木質バイオマスボイラーによる熱利用など、環境に配慮している点が評価されました。

表彰式は1月26日、福島市で行われ、内堀雅雄県知事から新井田大教育長に表彰状が贈られました。



## 「鬼は外、福は内」元気に豆まき

2月3日、野沢保育所芝草分所で豆まきが行われ、「鬼は外、福は内」の掛け声が保育所に響きました。児童らは、自分の中にある「おしゃべり鬼」や「泣き虫鬼」、「わがまま鬼」などを追い出すため、先生が作ってくれた鬼に向かって一生懸命豆を投げました。豆まきで鬼を退治し新しい自分になった児童らの顔には、自信が満ちあふれていました。



## 熱戦繰り広げる 輪投げ大会

2月17日、さゆり公園体育館で第22回町長杯親善輪投げ大会が開かれ、参加した39チーム約300人が熱戦を繰り広げました。皆さんは慎重に狙いを定めて輪を投げ、高得点が出ると会場に歓声が響きました。

団体 優勝＝長寿Aチーム、準優勝＝宝川Aチーム、第3位＝黒沢Aチーム・黒沢Bチーム

個人 最優秀賞＝渡部文子さん(黒沢A)、優秀賞(男性)＝佐藤清悦さん(宝川A)、優秀賞(女性)＝仲川幸子さん(長寿A)



## 固定資産評価審査委員会委員の紹介

固定資産の評価に関する不服の審査決定を行う固定資産評価審査委員会委員の辞令交付式が1月4日、町役場で行われ、右の3人に伊藤町長が辞令を手渡しました。委員の任期は本年1月1日から平成31年12月31日までです。



高濱悦子 さん(8町内)



齋藤和則 さん(上野尻)



伊藤重人 さん(塩)

## 町指定金融機関が変わります

4月1日から町の公金の収納・支払いを取り扱う指定金融機関が「会津よつば農業協同組合」から「会津信用金庫」に変わり、会津よつば農業協同組合、会津商工信用組合、東邦銀行が収納代理金融機関として公金の収納を取り扱います。この変更に伴う町民の皆さんの手続きはありません。今までどおりご利用ください。

## 戸籍の窓口 [1月受付分]

### まちの人口 (2月1日現在)

		(前月比)
人口	6,752人	(-26人)
男	3,257人	(-14人)
女	3,495人	(-12人)
世帯	2,721世帯	(-7世帯)

### お誕生おめでとう

伊藤 晴ちゃん	仲・史	1町内
長谷沼 千雪ちゃん	徳義・美紀	小清水

### お悔やみ申し上げます

石川 寅雄 (78)	祐宏	父	1町内
八島 春江 (72)	志信	母	1町内
赤城 キヨノ (90)	光恵	母	堀越

清野 清光 (74)	悟	父	大久保
伊藤 シン (91)	一郎	母	牧
長谷川 ミトリ (90)	充	母	縄沢
渡部 庄伍 (84)	幸司	父	縄沢
伊藤 一郎 (82)	一也	父	徳沢
山形 貞子 (79)	美幸	母	徳沢
薄 キヨ子 (93)	一美	母	高目
古川 一 (86)	太公	父	橋屋
川上 チヨ (82)	研二	母	新町
永井 フミ子 (86)	利吉	妻	新町
星 政子 (84)	健	母	新町
小林 甚八 (79)	久一郎	父	山浦
矢部 トメ (97)	正夫	母	中ノ沢
長谷川 貞子 (93)	成博	母	梨平
長谷川 喜代雄 (85)	勝雄	父	極入

## 有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]

### 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

健康づくりは朝がいちばん

# あなたの一声で救える命があります

悩みを抱え、追い詰められた人は、それを誰にも打ち明けることができず、周囲から孤立したり、自殺以外の選択肢を考えられなくなったりします。身近な人がこのような状態になってしまった場合、私たちはどうすれば良いのでしょうか。

3月は自殺対策強化月間です。かけがえのない命を守るため、今月号では自殺について考えてみましょう。

## 誰でも

### ゲートキーパー

皆さんは「ゲートキーパー」という存在を知っていますか。ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気付き、声を掛けたり、話を聞いたり、必要な支援につなげたりといった適切な対応を取ることができるとのことです。

自殺の要因にはさまざまなものがありますが、その背景には、追い詰められ、もう自ら命を絶つことしか考えられなくなってしまう心理状態があります。そうなる前に誰かに相談できれば良い



のですが、悩みを抱えていても相談することをためらってしまう人は少なくありません。だからこそ、家族や友人、職場の同僚といった身近な人がその人の変化に気付き、話を聞き、専門機関への相談を勧めることが大切なのです。



## ゲートキーパーの役割

**気付き** 家族や仲間の変化に気付いたら、声を掛けてみましょう。「最近元気がないね、何かあったの?」「お昼食べてないみたいだけど、どうしたの?」「疲れているようだけど、休めてる?」など

**傾聴** 悩みを打ち明けられた場合、打ち明けた人は「この人ならきくと聞いてくれるはずだ」と必死の思いで打ち明けたはず。本人の気持ちを尊重し、判断や批評はせずに耳を傾けましょう。

つなぐ 本人の気持ちを受



## 心の健康を保つ

いるといわれ、その中で最も多いのがうつ病です。しかし、実際に医療機関で治療を受けているのはそのうちの2割ほどで、残りの約8割は治療を受けていません。心の不調に早く気付き、適切な治療につなげることが、かけがえのない命を守る重要なポイントです。

け止め、早めに専門家や相談機関に相談するよう勧めましょう。確実に相談窓口につながるよう、本人に承諾を得た上で可能な限り本人の家族や友人なども連携し、相談の場所や日時などを具体的に設定することが大切です。

**見守る** 温かく寄り添いながら、じっくりと見守りましょう。専門家や相談機関に相談した後も、必要があれば相談に乗ることを伝えましょう。

## 背景にある精神疾患

自らの命を絶つ人のほとんどは何らかの心の病を抱えて

ストレスの多い現代社会では、ストレスをため込まないための工夫が大切です。仕事以外に打ち込める趣味を見つめたり、気の合う仲間とコミュニケーションをとったりしてストレスをためないように心がけましょう。また、誰かを支援する場合には、自分の心と体の健康管理にも気を配り、困ったときは信頼できる人に相談しましょう。一人一人が心の健康に関心を持ち、心の健康づくりに取り組みましょう。



# 「町民カローリング大会」開催

## ニユースポーツで冬を元気に♪

町公民館では、冬期間の運動促進と世代間交流を図るため、毎年「町民カローリング大会」を開催しています。7回目となる今年の大会は2月4日、さゆり公園体育館で行い、子どもから大人まで、参加した28チーム約80人の皆さんが、熱戦を繰り広げました。



▲入賞した7チームで記念撮影

◀狙いを定めて…

◀選手宣誓



▲道具は町公民館から借りられます

### カローリングとは

皆さんは、カローリングを体験したことがありますか。カローリングとは、カナダ

や北欧などで親しまれている氷上のスポーツ「カローリング」にヒントを得て誕生した、屋内で行うニユースポーツです。

町の大会では、1チーム3人で競技し、チームごとに6個のジェットローラを相手チームと交互にポイントゾーンめがけて投球し、点数を競います。カローリング同様、より中央の円に近い位置に止めた方が高得点となります。

### チームがひとつになれる楽しいスポーツ

開会式では、縄沢ロートルズの折笠匡さんが「今日一日楽しくプレーすることを誓います」と宣誓し、競技開始の午前9時を迎えると、小学生の部8チーム、一般の部20チームの計28チームが一斉に投球を開始しました。

初めのうちは、ジェットローラの勢いが足りずポイントゾーン手前で止まったり、相手のジェットローラに飛ばされたりと、なかなか思うよういかないもどかしさに、選手たちの手にはつい力が入りました。競技するうちにコツをつかむと、投球を終えた選手が仲間にはアドバイスや声援を送るなど、チーム一丸となってプレーしていました。

一般の部の決勝戦では、参加者全員が見守る中、勝ち残った菅本チームと淑女チームが一投一投を慎重に競い合い、町民カローリング大会は今回も大いに盛り上がりました。未経験の人は、出前講座などでその楽しさを一度体験してみてはいかがでしょうか。

◀応援にも熱が入りました



▲真剣な眼差しの児童

### 大会結果

#### 〈一般の部〉

- 第1位 菅本チーム
- 第2位 淑女チーム
- 第3位 笹川チーム

#### 〈小学生の部〉

- 第1位 チーム★めだまやき
- 第2位 たけのこの里
- 第3位 チームイケメン



片岡 光太郎 さん [塩]

佐藤 義信 さん (2月号) からメッセージ  
塩自治区を共に盛り上げましょう。

趣味は？

バドミントン

熱中していることは？

少し前は手巻きたばこに熱中して  
いました

最近感動したことは？

映画「この世界の片隅に」を見て  
感動しました

町民

# バトンタッチ

自分を一言で表現するとしたら？  
怠け者

これからやってみたいことは？  
ボルダリングに挑戦してみたいと  
思っています

次の方を紹介してください  
K・Wさん (端村)



## 聞いて！ わたしの夢

生徒会 総務  
水野 美知 さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分  
が思い描く夢や目標を話してもらっています。今  
月は1年・水野美知さんです。

わたしの夢——

「私の夢は、看護師になることです。理由は、  
けがをしたり、風邪をひいたりして病院に行った  
ときに、手際よく手当てをしながらみんなに優し  
く接している看護師さんがとても格好よく見えた  
からです。看護師になれたら、誰から頼られても  
いつも笑顔で対応できる看護師になりたいです」

努力していること——

「勉強やスポーツを頑張っています。また、最  
近心掛けていることは、いろいろな人と話すこと  
です。あまり話したことの無い人にもあいさつし、  
少しずつ話してみるようにしています」

未来の自分に一言——

「楽しんでますか？笑ってますか？どんな  
道に進んだとしても、何事にも笑顔でチャレンジ  
してください」

宝物は？『今の職場に採  
用となったときに友達が  
お祝いにくれたライターが  
いつも使っています』



## 町民 ギャラリー

今月は、四君子会(水墨画)  
新田 禮子 さんの作品です。

作品名『川のほとり』

作品紹介『川と林を対比的に表現し、秋晴れの  
清々しい風景を描きたいと思いました。光と  
影をうまく表わせたと思います』



沖縄県大宜味村との冬季交流から

# 雪遊びを通して絆深める



沖縄県大宜味村児童生徒との冬季交流が2月10日から12日までの3日間にわたり行われ、両校の児童生徒の皆さんは7月に沖縄で行われた夏季交流以来、約半年ぶりに再会しました。

10日の歓迎式では、西会津小6年の飯嶋莉子さんが「一生の思い出になる楽しい3日間にしましょう」と歓迎の言葉を述べた後、雪国まつりで大宜味村の児童生徒らが沖縄の郷土芸能エイサーを披露するお返しとして、西会津小の児童らが会津の民謡「会津磐梯山」を披露しました。

両校の子どもたちは、ホームステイ家庭での交流や、雪国まつり・雪上運動会への参加などを通して雪国・西会津を思い切り楽しみ、さらに絆を深めました。



## 編集後記

今年もさまざまなイベントで盛り上がった西会津雪国まつり。参加した人にも、そうでない人にもその楽しさを伝えたいと思い、今月号にフォトギャラリーを掲載しています。少しでも雰囲気を感じてもらえればうれしいです。

ところで、雪国まつり名物のジャンボ雪だるま、今年はとっても大きかったことを皆さんは知っていますか？私も会場では全く気付かなかったのですが、昨年以前の写真を見たら一目瞭然。すぐに分かりました。



比較対象にした昨年のジャンボ雪だるまは雪が少なかつたため特に小ぶりですが、今年のジャンボ雪だるまは恐らく過去最大。最大と知ると、登っておけば良かったなと思ってしまうのはなぜでしょう。

実は高所恐怖症 長谷川祐一